



photo: Reiko Hirose

昨日の神殿カレー

繁栄を極めた都市の中央に、青空に触れようと高く積み上げた白い大理石のピラミッド。

その南東に広がる新緑の広葉樹林、北西には強い日差しの中で日向ぼっこをしているような巨岩がいくつも転がっている。ピラミッドの周りの肥沃な大地にへばりつくように四方八方に広がる色とりどりの綿布の日よけで覆われた市場の中に入れば、ドライフルーツやナッツ、数えきれないスパイスが積み上がり、その香りと香りの間を縫うように日焼けした男が陽気に籠一杯の香草を売り歩いている。

海の向こうからやってきた歌劇は、活気ある商業都市に静かな品性とオペラハウスをもたらした。

その都市の繁栄を象徴しているのは、ダークブラウンのベルベット。

豊かな環境の中では、絶対的な権力者は必要なく、市民たちがお互いを尊重し、支えあいながらその都市の華やかな一体感を作り出している。

はるか上空を飛ぶトンビには地域の全体像と未来が見えている。

未来の人間たちは、白いピラミッドのことを「昨日の神殿」と呼ぶだろう。

「昨日の神殿カレー」の始まりは、2023年の12月、Ongoingカフェでいつも美味しい料理を作ってくれるシズエさんに「昨日の神殿カレー」を作ってもらえませんか？と相談したことでした。

良いアート作品が時に多義性や両義性を持つように、今回創作してくれた「昨日の神殿カレー」もシンプルで複雑な味味を持っていて、「おなかを満たすための料理」を超えて、色鮮やかな風景を想像させる力がありました。

スパイスカレーの大地に浮かぶ、ゴロっと肉の旨味、フルーツの酸味、ナッツの食感、パクチーの香りが織りなす華やかさを、「昨日の神殿」にはじめて足を踏み入れた探検家のように楽しんでもらえたらと思います。

※期間中、「昨日の神殿カレー」を注文してくださった皆さまに個展「昨日の神殿」特製カードをプレゼントいたします。